



# 地域振興 バスに ついて

## ◆年間需要予測と実態は

**問** 19年度予測に対し92・5%の利用率、北部線は37・9%、勝弦線160%と路線により差があるが。  
(金田)

**答** 総体では、需要予測通り北部線は新設で実績が無いため市内地域振興バスの平均利用者の数値で算出したこと、国道の渋滞で遅れ気味になった事や、田川高校生の利用がほとんど無かったため。

**問** 洗馬線満足度は、満足3%に普通を合わせても31%と低い、原因は。  
(金田)

**答** 早朝の通学対応の便を設



より満足度の高いバス路線の研究を



乗客数増に向け市民への呼びかけを

けたため日中の間隔が空き、不便を感じた為と思われる。

## ◆年間経費は

**問** 7千300万円余の予算に対する実績は。  
(金田)

**答** 109・4%、8千万円余で680万円余の増。

## ◆乗客数増への取り組みは

**問** 市民への利用の呼びかけはどのようか。  
(金田)

**答** 特に行っていない。

**問** イベント時等に、全線を無料にして利用体験の機会を提供しては。  
(金田)

**答** 運行委託形態により、難しい状況もあるが検討する。

## ◆サービスの妥当性の検討は

**問** 乗客1人当たりの19年度輸送原価499円7銭、他自治体との比較は。  
(金田)

**答** 運行形態、費用負担の方法が異なるため比較できない。

## ◆広丘駅駐輪場拡張整備

**問** JR利用者が増加し西口駐輪場を拡張しないと、収容できないが、施設整備の考えは。  
(永井)

**答** 西口駐輪場、東側に隣接するJR用地250㎡を取得し、駐輪台数310台を確保するため整備する。また、防犯カメラの設置も検討したい。

## ◆同報無線整備の内容は

**問** 防災行政無線としてデジタル同報無線を導入する計画だが、その基本的な考えはどのようなものか。  
(柴田)

**答** 具体的方法としては同報系、移動系、光ファイバーなどがあるが、総合的に検討した結果同報系防災無線が適当と考えた。屋外拡声器や双方向受信機などを計画している。

## ◆安心のまちづくりについて



今後整備が予定される広丘駅西口駐輪場

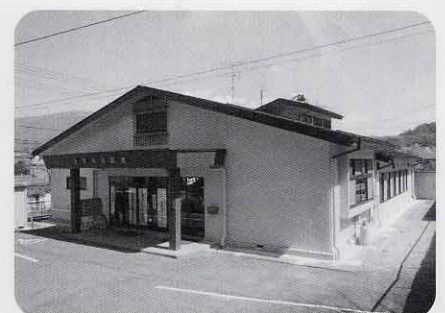
**問** 公民館耐震診断と耐震改修費用助成の増額は。  
(中原口)

**答** 避難所に指定されていない31施設の平均耐震診断費用は木造で10万円程度、非木造で約250万円であり助成の上限は90万円、耐震改修の助成の上限は木造で400万円、非木造で530万円である。

## ◆子育て支援の地域連携

**問** 子育て世代を応援する支援協定活動の考えは。(中原口)

**答** 仮称「ながの子育て家庭支援バスポート事業」の全県展開が検討されている。



耐震改修が行われた上西条公民館